

コロナ禍だからこそ大幅賃上げを求める 21 国民春闘

昨年を上回る回答を引き出した力を教訓に上積みめざそう（談話）

2021年3月12日

国民春闘共闘委員会・全労連 事務局長 黒澤 幸一

国民春闘共闘委員会・全労連は、コロナ禍だからこそ大幅賃上げの実現をめざし、加盟単産・地方一体となったたたかいを展開してきた。たたかいは、春闘アンケートで示された 25,000 円以上、時給 150 円以上の賃上げ要求を掲げ、正規・非正規すべての労働者の賃金改善と格差是正を求めてきた。

3月11日のストライキを含む全国統一行動では、少なくとも5万人を超える組合員が結集し、3月10日の集中回答日での誠意ある回答を迫ってきた。第1次集計では、加盟組織の奮闘により有額回答を引き出していることが報告されている。しかし、生活改善のために掲げた切実な賃上げ要求からは極めて不満である。

賃上げは、加重平均で昨年を上回る引上げを確保した。第1次集計としては国民春闘共闘・全労連の仲間による労働組合の交渉力を発揮し、大いに奮闘した結果と評価できる。

一方で、使用者の不十分な回答にストライキを執行した組織では、組合員の切実な要求実現をめざし、誠意ある回答を求めたたかいを継続している。国民春闘共闘委員会・全労連は、3月から4月を回答引上げ期としてとりくみ、職場と地域一体でとりくみを進める。

国民春闘共闘委員会・全労連は、1月6日の新春宣伝行動を皮切りに、15日の春闘宣言行動、27日の春闘総決起集会を成功させ、2月には全国各地で地域総行動を展開してきた。職場では、要求書の提出を進め、集中回答日での決着をめざし、組合員が奮闘してきた。

新型コロナウイルスによって、中小零細企業をはじめ多くの企業は先行きが見えない状態に陥っている。しかし、従業員の雇用確保と経営の継続をめざした中小企業経営者の苦労は計り知れない。だからこそ、われわれは中小企業支援の重要性を訴え、雇用調整助成金の拡充をはじめ休業支援金など生活困難に陥っている労働者の生活支援だけでなく、持続化給付金や家賃支援給付金の拡充を求めてきた。伸張し続けている大企業の内部留保を活用と公正な取引の実現で、賃金や中小企業への発注単価の大幅引き上げなどが求められる。

本春闘では、国民春闘共闘が先行相場の形成に向けた果敢なたたかいを展開してきた。JCなど大手組合の回答より先行して職場と地域から粘り強いたたかいを展開してきたが、財界による春闘破壊攻撃と生産性向上の二者択一を迫られるなか、大きな成果を勝ち取るまでには至っていない。しかし、労働者の切実な要求実現に向けたたたかいで生活を守りたいとの願いはより切実になっており、われわれの挑戦は希望の光となっている。

政府では、高級官僚による倫理観が欠如した不祥事などが相次いでいる。多くの国民は、政治を転換したいと心から叫んでいる。しかし、受け皿となる新たな政治の姿が十分に見えず、行き場のない怒りに打ち震えている。

国民春闘共闘委員会・全労連は、市民と野党の共闘の深化で新たな政治への転換を実現させ、いのちを守る医療・社会保障と公務・公共サービスの体制拡充をめざして引き続き奮闘する決意である。

以上